

CA Performance Management Data Aggregator

アンインストール ガイド - サイレント モード

2.4



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複写、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、

(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供: アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2014 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: アンインストール	7
CA Performance Management Data Aggregator のインストール方法 - サイレント モード	7
サイレント モードでの Data Aggregator のアンインストール	7
サイレント モードでの Data Collector のアンインストール	9
Data Repository のアンインストール	10

第 1 章: アンインストール

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[CA Performance Management Data Aggregator のインストール方法 - サイレントモード \(P. 7\)](#)

CA Performance Management Data Aggregator のインストール方法 - サイレントモード

CA Performance Management Data Aggregator はサイレントモードを使用してアンインストールできます。以下の順にコンポーネントをアンインストールします。

1. [Data Aggregator をアンインストールします。](#) (P. 7)
2. [Data Collector をアンインストールします](#) (P. 9)。
3. [Data Repository をアンインストールします](#) (P. 10)。

サイレントモードでの Data Aggregator のアンインストール

Data Aggregator はサイレントモードでアンインストールできます。アンインストールされた Data Aggregator に関連付けられている IP ドメイン内に IP アドレスがある場合、新しいデバイスは検出できず、既存のポーリングされるデバイスを管理することはできません。

次の手順に従ってください:

1. コマンドプロンプトを開きます。root ユーザとして、以下のコマンドを入力し、Data Aggregator をアンインストールするコンピュータにログインします。

```
su - root
```

root ユーザとしてログインできない場合は、[制限されたコマンドセットにアクセスできる sudo ユーザアカウントを設定します](#) (P. 8)。

2. 以下のコマンドを入力して、アンインストールディレクトリにアクセスします。

```
cd Data Aggregator のインストール ディレクトリ/Uninstall
```

3. 以下のコマンドを入力して、アンインストーラを実行します。

```
./Uninstall
```

Data Aggregator がアンインストールされます。

詳細情報:

[CA Performance Management Data Aggregator のインストール方法 - サイレントモード \(P. 7\)](#)

Data Aggregator の sudo ユーザ アカウントの設定(オプション)

Data Aggregator をインストールする前に、root ユーザとしてログインします。ただし、環境によっては、root ユーザのアクセスが制限される場合があります。root ユーザアクセスを利用できない場合は、制限されたコマンドセットにアクセスできる sudo ユーザを使用して、ソフトウェアをインストールおよび実行できます。

次の手順に従ってください:

1. Data Aggregator をインストールするコンピュータに root ユーザとしてログインします。
2. /etc/sudoers ファイルのコマンドエイリアス セクションに以下のコマンドエイリアスを追加します。

```
Cmnd_Alias CA_DATAAGG = /tmp/installDA.bin, /etc/init.d/dadaemon,  
/opt/IMDataAggregator/uninstall
```

```
## Allows the Data Aggregator user to manage the Data Aggregator
```

```
dasudouser_name ALL = CA_DATAAGG
```

このコマンドエイリアスには、sudo ユーザが実行できる必要があるコマンドが記述されています。

sudo ユーザ アカウントが設定されます。

サイレントモードでの Data Collector のアンインストール

Data Collector はサイレントモードでアンインストールできます。アンインストールされた Data Collector に関連付けられている IP ドメイン内に IP アドレスがある場合、新しいデバイスは検出できず、既存のポーリングされるデバイスを管理することはできません。

次の手順に従ってください:

1. コマンドプロンプトを開きます。root ユーザとして、以下のコマンドを入力し、Data Collector をアンインストールするコンピュータにログインします。

```
su - root
```

root としてログインできない場合は、[制限されたコマンドセットにアクセスできる sudo ユーザアカウントを設定します \(P. 9\)](#)。

2. 以下のコマンドを入力して、アンインストールディレクトリにアクセスします。

```
cd Data Collector のインストール ディレクトリ/Uninstall
```

3. 以下のコマンドを入力して、アンインストーラを実行します。

```
./Uninstall
```

Data Collector がアンインストールされます。

詳細:

[CA Performance Management Data Aggregator のインストール方法 - サイレントモード \(P. 7\)](#)

Data Collector の sudo ユーザアカウントの設定(オプション)

Data Collector をインストールする前に、root ユーザとしてログインします。ただし、環境によっては、root ユーザのアクセスが制限される場合があります。root ユーザとしてログインできない場合は、制限されたコマンドセットにアクセスできる sudo ユーザにより、ソフトウェアをインストールして実行できます。

次の手順に従ってください:

1. Data Collector をインストールするコンピュータに root ユーザとしてログインします。

2. `/etc/sudoers` ファイルの `command_alias` セクションに以下の `command_alias` を追加します。

```
Cmd_Alias CA_DATACOLL = /tmp/install.bin, /etc/init.d/dcmd,  
/opt/IMDataCollector/Uninstall/Uninstall
```

```
## Allows the Data Collector user to manage the Data Collector
```

```
sudoers_name ALL = CA_DATACOLL
```

この `command_alias` には、`sudo` ユーザが実行できる必要がある `command` が記述されています。

`sudo` ユーザ アカウントが設定されます。

Data Repository のアンインストール

単一ノードのインストールまたはクラスターインストールの **Data Repository** をアンインストールできます。 **Data Aggregator** をアンインストールしてから、**Data Repository** をアンインストールします。

注: **Data Repository** をアンインストールする前に、後で使用する場合は、バックアップすることをお勧めします。

次の手順に従ってください:

1. コンソールを開き、以下のコマンドを入力して、データベース管理者ユーザの **Linux** ユーザ アカウントになります。

```
su - データベース管理者ユーザの Linux ユーザ アカウント
```

たとえば、以下のようになります。

```
su - dradmin
```

2. 以下のコマンドを入力します。

```
/opt/vertica/bin/adminTools
```

[Administration Tools] ダイアログ ボックスが表示されます。

注: データベースがクラスターで実行されている場合は、クラスター内の任意のノードから `adminTools` を起動できます。

3. [(4) Stop Database] を選択して、[OK] を選択します。

Data Repository が停止しない場合は、[(7) Advanced Menu] を選択して、[(2) Stop Vertica on Host] を選択します。それでも Data Repository が停止しない場合は、拡張メニューで [(3) Kill Vertica Process on Host] を選択します。

注: Data Repository がクラスタで実行されている場合は、クラスタ内の複数のホストで [(3) Kill Vertica Process on Host] を選択する必要がある場合があります。

Data Aggregator が自動的に停止します。

4. Data Repository のデータ ディレクトリの場所は以下のとおりです。
 - a. [(6) Configuration Menu] を選択します。
 - b. [(3) View Database] を選択します。
 - c. データベースのデータベース ディレクトリは、出力に表示されているカタログ ディレクトリの親です。
5. [Administration Tools] ダイアログ ボックス内のデータベースを削除するには、以下のように操作します。
 - a. [(6) Configuration Menu] を選択します。
 - b. [(8) Drop Database] を選択します。
6. データベース管理者ユーザを終了させて、root/sudo ユーザに su またはログインします。
7. 以下のコマンドを入力して、インストールされている Data Repository パッケージの名前を検索します。

```
rpm -qa | grep vertica
```

注: Data Repository がクラスタで実行されている場合は、クラスタに参加している各ホストについて、この手順を繰り返します。

8. 以下のコマンドを入力して、Data Repository パッケージを削除します。

```
rpm -e 前の手順で取得したパッケージ名
```

注: Data Repository がクラスタで実行されている場合は、クラスタに参加している各ホストについて、この手順を繰り返します。

9. 以下のディレクトリを削除します。
 - a. 以下のコマンドを入力して、/opt/vertica/ ディレクトリおよびすべてのサブディレクトリを削除します。

```
rm -rf /opt/vertica/
```

- b. 以下のコマンドを入力して、データベース ディレクトリを表示します。

```
ls データ リポジトリのディレクトリ
```

指定されたデータベース ディレクトリが正しいことを確認します。

以下のコマンドを入力して、データベース ディレクトリを削除します。

```
rm -rf データ リポジトリのディレクトリ
```

注: Data Repository がクラスタで実行されている場合は、クラスタに参加している各ホストについて、この手順を繰り返します。

Data Repository がアンインストールされます。